

# 2026年3月期 決算補足資料



東証プライム 証券コード：9729

2026年5月12日（火）

# 目次

## 決算概要

決算ハイライト	3
決算ハイライト（連結売上高の増減）	4
決算ハイライト（連結営業利益の増減）	5
決算ハイライト（期初計画比）	6
連結 損益の状況（P/L）	7
連結 財務の状況（B/S）	8
連結 キャッシュ・フローの状況（C/F）	9
設備投資の実績	10
2027年3月期連結業績見通し	11
株主還元	12

## Appendix

トーカイグループの事業領域	14
トーカイグループ 事業の沿革	15
セグメントの構成および事業内容	16

# 決算ハイライト

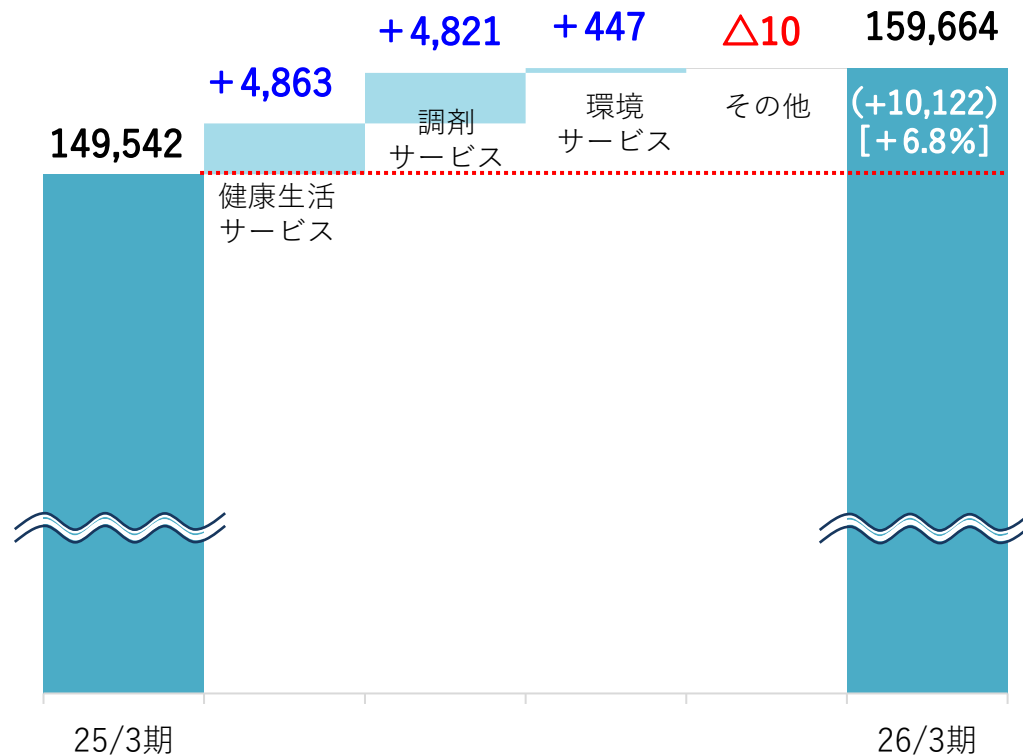
## 2026年3月期 決算概況（売上高+6.8%、営業利益+14.5%）

- ✓ 連結売上高は5期連続増収、営業利益・経常利益は3期連続増益で、いずれも過去最高を更新
- ✓ 期初計画に対しては、売上高および各段階利益のすべてで計画を上回って着地  
→営業利益は前期並みの期初計画に対して、+14.2%と大きく増益を確保
- ✓ 自己株式の取得・消却を通じて資本効率が改善、ROEは7.2%に（前期比+1.7pp）
- ✓ 営業活動により創出したキャッシュも過去最高を更新

# 決算ハイライト（連結売上高の増減）

✓ 主力のレンタル売上が好調に推移したことに加え、調剤薬局事業の売上伸長や前期中中に連結加入した2社の売上貢献により、**前年同期比増収、過去最高を更新**

（単位：百万円）



## 健康生活

### 病院関連・寝具 +1,724

- ・戦略商品「入院・入居セット」の売上伸長（前期比+6.9%）
- ・ホテルリネンを中心にサービス価格適正化を推進

### シルバー +3,027

- ・新規利用者数の伸長により介護用品レンタルが好調に推移
- ・(株)mik japan、(株)介護センター花岡の連結加入

### 給食 △178

- ・不採算事業所の撤退

### その他 +290

- ・クリーニング設備製造事業の売上が好調に推移

## 調剤

### 調剤薬局 +3,848

- ・高額医薬品の処方の増加などにより、処方箋単価が上昇
- ・かかりつけ機能や医療DX推進体制の強化が、技術料の上昇に寄与

### ドラッグストア関連 +972

- ・(株)mik japanの連結加入

## 環境

### リースキン △72

- ・トイレ周りの各種商材の売上が好調に推移した一方、ダストコントロール商品は、レンタル・販売ともに厳しい事業環境が継続

### 清掃 +515

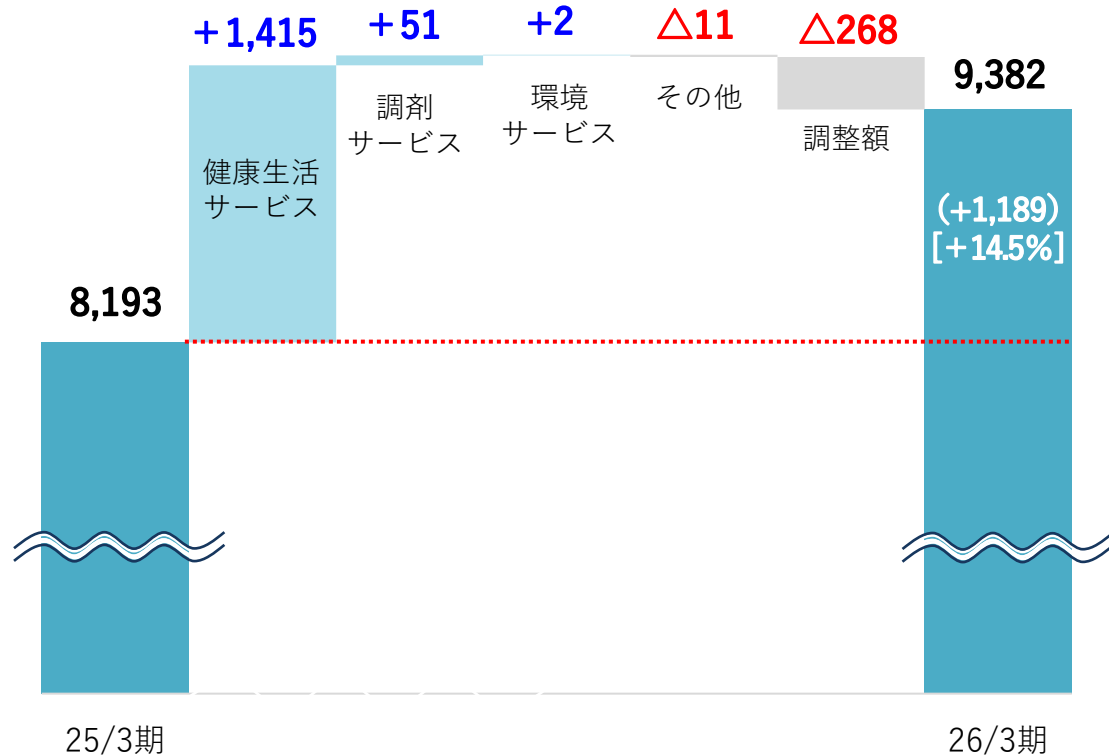
- ・新規獲得や価格適正化の取り組みなどにより病院清掃売上が好調に推移

### その他 +4

# 決算ハイライト（連結営業利益の増減）

✓ 健康生活サービスの増収効果等により前年同期比増益、過去最高を更新

（単位：百万円）



健康生活	<p><b>病院関連・寝具 +394</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>増収効果による増益</li> <li>ホテルリネンを中心としたサービス価格の適正化により、外注費などのコスト増加を吸収</li> </ul> <p><b>シルバー +698</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レンタル資材の効率的な運用により原価を圧縮</li> <li>（株）介護センター花岡の連結加入影響を含む増収効果</li> </ul> <p><b>給食 +149</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>構造改革の推進等により収益が改善</li> </ul> <p><b>その他 +173</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>クリーニング設備製造事業の増収に伴う利益増および2025年3月末でアイエイド事業を撤退したことに伴う費用減により増益</li> </ul>
調剤	<p><b>調剤薬局 +103</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技術料売上の増加などに伴う利益増</li> </ul> <p><b>ドラッグストア関連 Δ52</b></p>
環境	<p><b>リースキン Δ59</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>レンタル資材の補充増による資材費の増加</li> </ul> <p><b>清掃 +58</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>増収に伴う利益増</li> </ul> <p><b>その他 +3</b></p>
調整額	<ul style="list-style-type: none"> <li>70周年記念事業費用</li> <li>事業開発部門の費用を全社費用に移管したことに伴う費用増</li> </ul>

# 決算ハイライト（期初計画比）

- ✓ 売上高および各段階利益のすべてで期初計画を上回り、  
営業利益は前期並みとしていた期初計画に対して+14.2%と大きく増益を確保

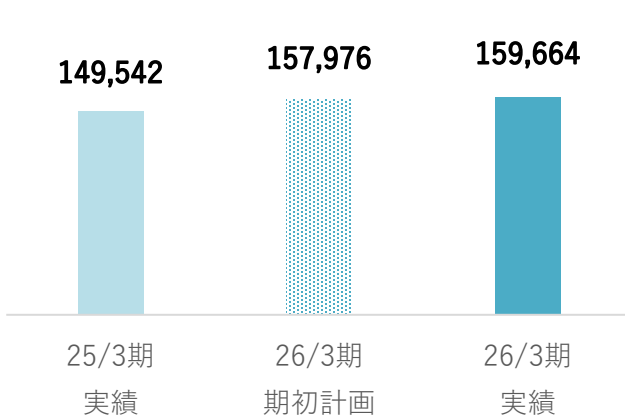
## 売上高

期初計画比 **+1.1%**

（主な要因）

- ・主力のレンタル事業の売上が順調に推移
- ・高額医薬品の処方増加により調剤薬局事業の売上が計画を上回る
- ・取引先ホテルの稼働増などにより寝具・リネンサプライ事業の売上が好調に推移

（単位：百万円）



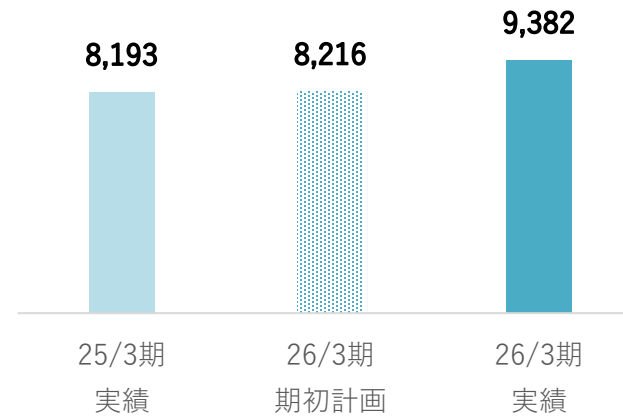
## 営業利益

期初計画比 **+14.2%**

（主な要因）

- ・売上高が好調に推移
- ・シルバー事業におけるレンタル資材の効率的な運用などによる原価圧縮

（単位：百万円）



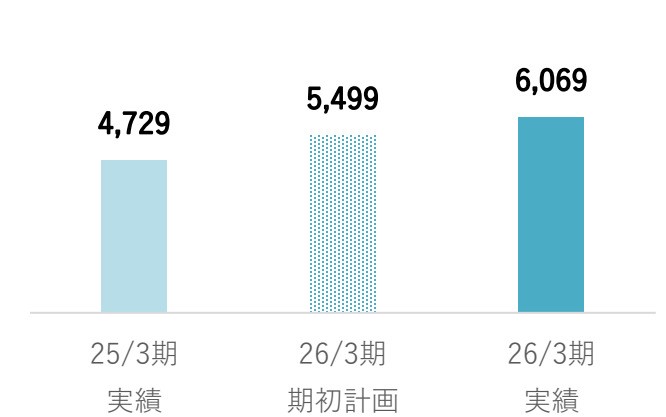
## 親会社株主に帰属する当期純利益

期初計画比 **+10.4%**

（主な要因）

- ・営業利益、経常利益が好調に推移
- ・一方、埼玉工場の土地や調剤薬局の一部店舗などについて減損損失を計上

（単位：百万円）



# 連結 損益の状況 (P/L)

(単位：百万円)

	25/3期	26/3期 期初計画	26/3期 実績	前期比		期初計画比	
				増減額	増減率	増減額	増減率
<b>売上高</b>	<b>149,542</b>	<b>157,976</b>	<b>159,664</b>	<b>+10,122</b>	<b>+6.8%</b>	<b>+1,687</b>	<b>+1.1%</b>
健康生活サービス	76,935	81,678	<b>81,799</b>	+4,863	+6.3%	+120	+0.1%
調剤サービス	58,049	61,206	<b>62,870</b>	+4,821	+8.3%	+1,663	+2.7%
環境サービス	14,389	14,927	<b>14,837</b>	+447	+3.1%	△90	△0.6%
その他	168	162	<b>157</b>	△10	△6.4%	△5	△3.1%
<b>営業利益</b>	<b>8,193</b>	<b>8,216</b>	<b>9,382</b>	<b>+1,189</b>	<b>+14.5%</b>	<b>+1,165</b>	<b>+14.2%</b>
健康生活サービス	7,130	7,908	<b>8,546</b>	+1,415	+19.9%	+638	+8.1%
調剤サービス	2,378	1,986	<b>2,430</b>	+51	+2.2%	+443	+22.3%
環境サービス	1,230	1,239	<b>1,232</b>	+2	+0.2%	△7	△0.6%
その他	△11	△7	<b>△23</b>	△11	-	△16	-
調整額	△2,534	△2,911	<b>△2,803</b>	△268	-	+107	-
<b>経常利益</b>	<b>8,825</b>	<b>8,590</b>	<b>10,098</b>	<b>+1,272</b>	<b>+14.4%</b>	<b>+1,507</b>	<b>+17.6%</b>
<b>親会社株主に帰属する 当期純利益</b>	<b>4,729</b>	<b>5,499</b>	<b>6,069</b>	<b>+1,339</b>	<b>+28.3%</b>	<b>+569</b>	<b>+10.4%</b>

※ 当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定を反映させております。

# 連結財務の状況 (B/S)

- ✓ 昨年11月に実施した自己株式の取得にかかる資金調達により負債が増加した一方、その消却に伴い純資産は減少
- ✓ 引き続き安定した財務基盤を確保しつつ、資本効率を高めることで、ROEは前期比+1.7pp改善

(単位：百万円)

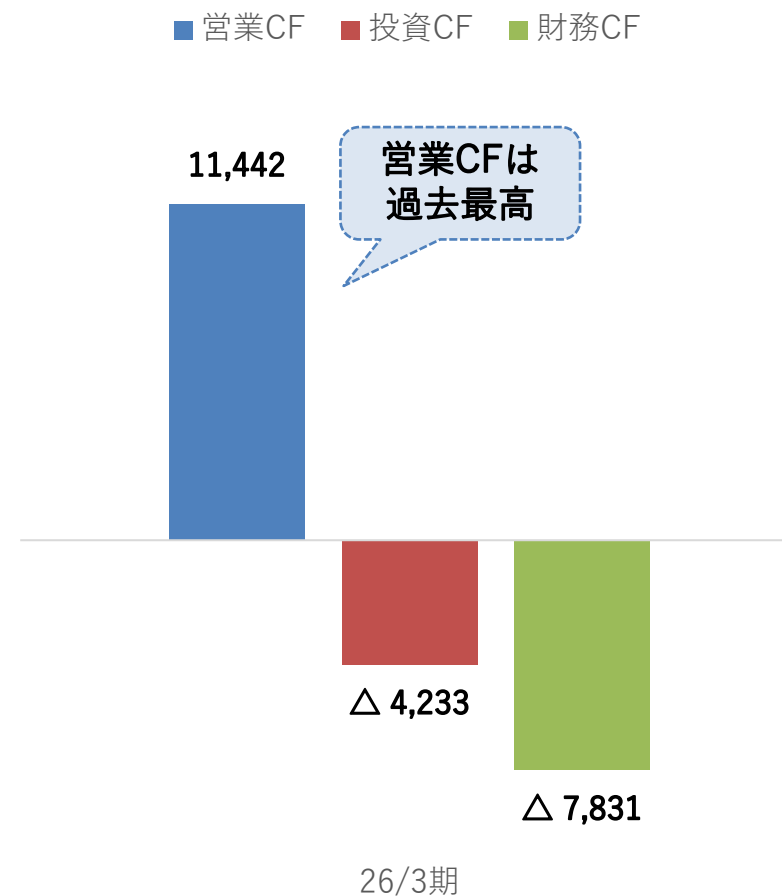
	25/3期	26/3期	増減額
流動資産	56,311	57,434	+ 1,122
固定資産	57,977	57,261	△716
資産合計	114,289	114,695	+ 406
流動負債	23,153	25,003	+ 1,850
固定負債	5,293	5,260	△32
負債合計	28,447	30,264	+ 1,817
純資産合計	85,841	84,431	△1,410
負債・純資産合計	114,289	114,695	+ 406
自己資本比率	74.5%	73.0%	△1.5pp
ROE	5.5%	7.2%	+ 1.7pp

※ 当連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前連結会計年度に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定を反映させております。

# 連結 キャッシュ・フローの状況（C/F）

（単位：百万円）

	25/3期	26/3期	増減額
営業活動によるC/F	10,096	11,442	+1,345
投資活動によるC/F	△11,411	△4,233	+7,178
財務活動によるC/F	△5,197	△7,831	△2,633
現金及び現金同等物の増減額	△6,522	△548	+5,973
現金及び現金同等物の期末残高	23,885	23,417	△468



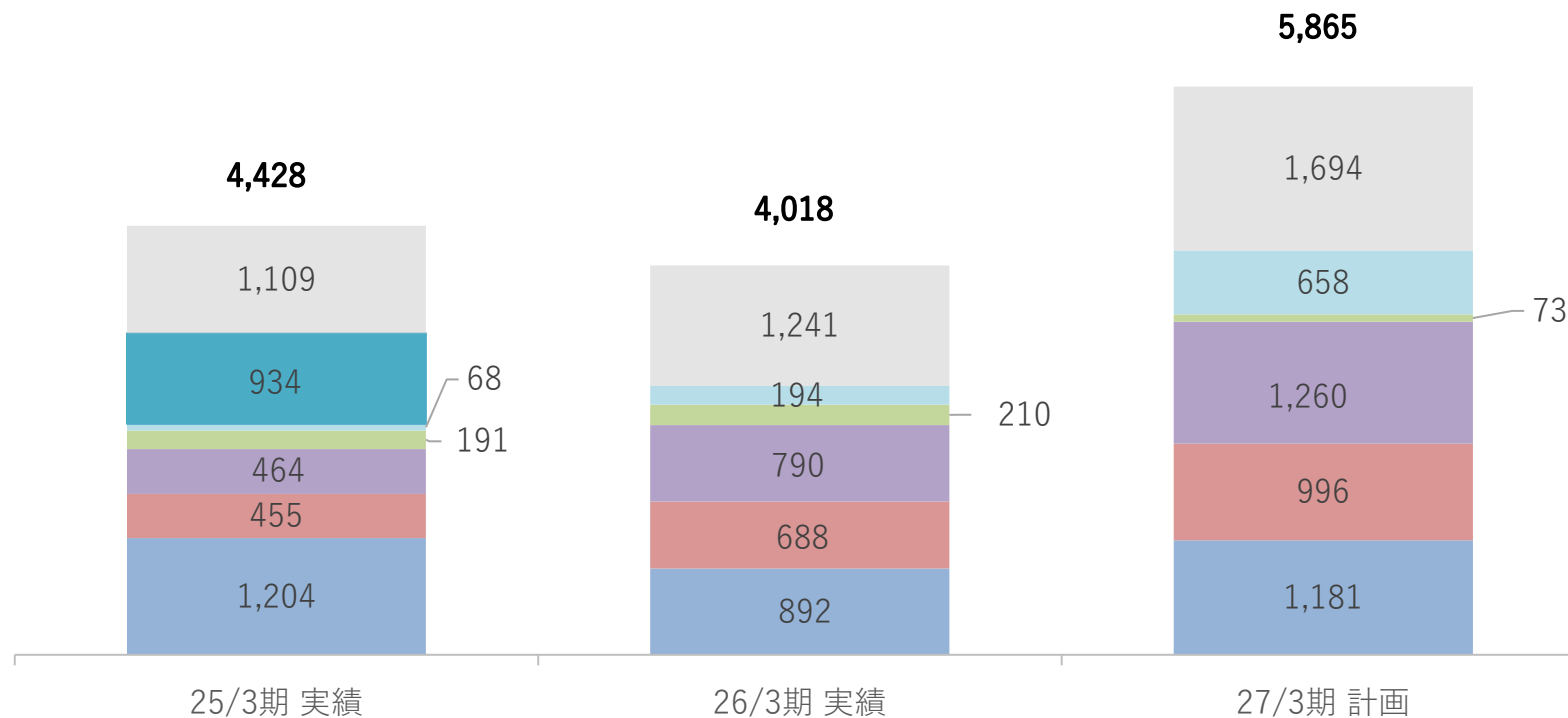
# 設備投資の実績

(単位：百万円)

	25/3期	26/3期		27/3期 (計画)	
			増減額		増減率
設備投資	4,428	4,018	△410	△9.3%	5,865
減価償却	4,875	4,782	△93	△1.9%	4,906

## (設備投資の内訳)

- その他
- 工場建設
- シルバー拠点開設・改修
- 調剤薬局出店
- システム関連
- 工場設備等
- レンタル資材



# 2027年3月期 連結業績見通し

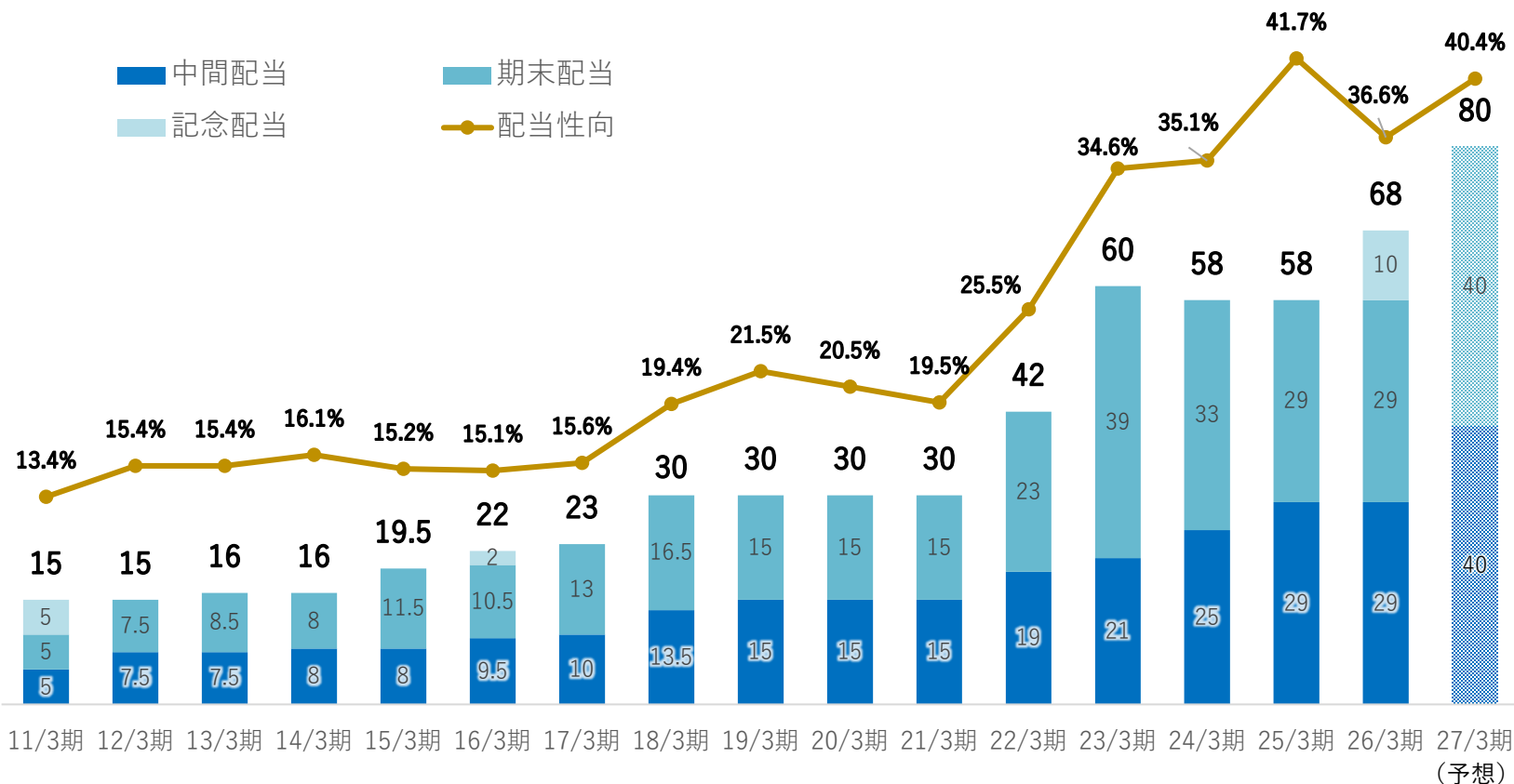
- ✓ 調剤報酬改定や中東情勢の緊迫化を受けたコスト環境の変化などを織り込み、営業利益は減益を見込むものの、レンタル事業の拡大やサービス提供価格の適正化、DX推進を通じた業務効率化などにより、マイナス影響の吸収に努める
- ✓ 親会社株主に帰属する当期純利益は前期の減損損失が剥落することにより、前期比増益を見込む

(単位：百万円)

	26/3期	27/3期 (予想)	前期比		(参考) 28/3期中計目標
			増減額	増減率	
売上高	159,664	165,400	+5,735	+3.6%	1,700億円
営業利益	9,382	8,985	△397	△4.2%	95億円
経常利益	10,098	9,437	△660	△6.5%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,069	6,117	+48	+0.8%	

# 株主還元 ～2027年3月期より配当方針を変更～

- ✓ 2026年3月期は70周年記念配当に加えて約63億円の自己株式取得を実施、総還元性向は140.4%に
- ✓ 2027年3月期からは配当性向の目安を35%→40%へ引き上げるとともに、累進配当を導入
  - 年間配当額は前期比12円増配の80円となり、配当性向は40.4%となる見込み



2027年3月期～  
配当方針

配当性向の目安  
35% → **40%**

**累進配当**を導入

※当社は2018年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、上記の一株当たり配当額は、2011年3月期の期初に当該株式分割が実施されたと仮定し算出しております。

# Appendix

---

# トーカイグループの事業領域

## 「医療と介護の現場」を支える

- 医療機関・介護福祉施設向け寝具リネンサプライ
- 看護補助
- 院内物流管理
- 給食
- 入院・入居セット
- ネクサージ  
(手術用リネンのリユース)
- 清掃



## 「高齢者の自立した生活」を支える

- 介護用品のレンタル・販売
- 住宅改修 (バリアフリー化)
- リハビリ特化型デイサービス



## 「地域の皆さまの健康」を支える

- 調剤薬局・在宅調剤
- ドラッグストア



## 「日々の清潔な暮らし」を支える

- 宿泊施設等向け寝具リネンサプライ
- リネンサプライ工場の省人化設備開発・販売
- アクアクララ (ウォーターサーバーレンタル・水の宅配)
- リースキン (環境美化用品のレンタル)



### <参考> 事業セグメント

#### 健康生活サービス

- 医療機関・介護福祉施設向け寝具リネンサプライ
- 看護補助
- 院内物流管理
- 給食
- 入院・入居セット
- ネクサージ
- 介護用品のレンタル・販売
- 住宅改修
- リハビリ特化型デイサービス
- 宿泊施設等向け寝具リネンサプライ
- リネンサプライ工場の省人化設備開発・販売
- アクアクララ

#### 調剤サービス

- 調剤薬局・在宅調剤
- ドラッグストア

#### 環境サービス

- リースキン
- 清掃

# トーカイグループ 事業の沿革

1955年「東海綿業(株)」として岐阜市に創業（1975年に「(株)トーカイ」に商号変更）

健康 生活サービス	<p><b>1955年 寝具のレンタルを開始</b> 高度経済成長期、建設現場の作業員宿舎に対して「貸布団」を提供。</p>		<b>寝具・リネンサプライ事業</b>
	<p><b>1962年 病院用寝具のレンタル事業を開始</b> 1961年に病院寝具設備の外部委託が認可されたことを受け、病院用寝具のレンタルを開始。</p>		<b>病院関連事業</b> <b>給食事業</b>
	<p><b>1987年 病院給食の業務受託を開始</b> 1986年に病院給食の外部委託が認可されたことを受け、トーカイの給食事業課で業務受託を開始。(現: トーカイフーズ(株))</p>	<p><b>2005年</b> 手術用リネンのリユース (INEX-SURG.) 事業を開始。</p>	
	<p><b>1996年 介護用品のレンタル事業を本格的に展開</b> 2000年の介護保険法施行に伴う需要増加、高齢化の進展による市場拡大を見込み、トーカイ全支店にシルバー事業課を置き体制を強化。</p>	<p><b>2011年</b> 入院・入居セットを本格展開。</p>	<b>シルバー事業</b>
	<p><b>2003年</b> 飲用水の宅配を行うアクアクララ事業を開始。</p>	<p><b>2024年</b> (株)mik japanのグループ化により、リハビリデイサービス事業に参入。</p>	
調剤 サービス	<p><b>1995年 調剤薬局事業を開始</b> 厚生省(現 厚生労働省)の強力な指導のもと医薬分業が推進されていた当時、取引先の医療機関より、当社に調剤薬局開設の期待が寄せられていたことを受け、たんぽぽ薬局(株)を設立。</p>	<p><b>2012年</b> 在宅調剤事業を本格的に展開。</p>	<b>調剤薬局事業</b>
	<p><b>2022年</b> LINE公式アカウントを開設。</p>	<p><b>2020年</b> オンライン 服薬指導全店対応。</p>	<b>ドラッグストア関連事業</b>
	<p><b>2024年</b> (株)mik japanのグループ化により、ドラッグストア事業に参入。</p>		
環境 サービス	<p><b>1968年 ダストコントロール商品のレンタル事業を開始</b> 1960年代、生活の洋風化に伴いダストコントロールの概念が普及するなか、“レンタルビジネス”と“洗濯工場”のノウハウを生かし、ダストコントロール事業に参入。フランチャイズシステムに基づくリースキン・エンタープライズ・チェーンを組織し、全国展開を開始。</p>	<p><b>2014年</b> 「トイレ周リ日本一」を掲げ、トイレ周リ商材の開発・拡販に注力。</p>	<b>リースキン事業</b>
	<p><b>1985年 清掃事業を開始</b> 業容拡大とビルメンテナンスのニーズに応えるため、リースキンの化学商品を扱っていた子会社を総合ビルメンテナンス事業を担う会社として新設。(現: (株)ティ・アシスト)</p>	<p><b>2013年</b> (株)ビルメンをグループ化し、関東エリアの事業基盤を拡大。</p>	<b>清掃事業</b>
	<p><b>2012年</b> 太陽光事業を開始。</p>	<p>※2025年4月1日付で(株)ティ・アシストを存続会社とする吸収合併により消滅。</p>	<b>太陽光事業</b>

# セグメントの構成および事業内容

	セグメント別構成比	事業別構成比	事業内容	ポートフォリオの位置づけ
健康生活	 51.2%	27.6%	<b>病院関連</b> 病院寝具・白衣等のレンタルやリネンサプライ、看護補助、院内物流管理等の医療周辺業務の受託。介護福祉施設にも寝具類のレンタルを提供	安定収益
			<b>寝具・リネンサプライ</b> ホテル等宿泊施設への寝具類のレンタルおよびリネンサプライ	成長けん引
		17.7%	<b>シルバー</b> <b>介護用品レンタル</b> 介護保険制度に基づく介護用品のレンタル・販売、住宅改修サービス <b>リハビリデイサービス</b> 高齢者の身体機能維持・向上を目的としたリハビリ特化型デイサービス施設「ミック健康の森」を運営	成長けん引
		3.3%	<b>給食</b> 医療機関や介護福祉施設等における給食サービス	収益性強化
		2.6%	<b>その他</b> <b>クリーニング設備製造事業</b> クリーニング工場の省人化や効率化に寄与する仕上げ工程の機械設備の開発・製造 <b>アクアクララ事業</b> 宅配水「アクアクララ」サービス ほか	—
調剤	 39.4%	36.7%	<b>調剤薬局</b> 医療機関の門前一等地を中心とした調剤専門薬局「たんぼぼ薬局」を展開	収益性強化
		2.7%	<b>ドラッグストア関連</b> 地域に根差したドラッグストア「ドラッグミック」を関西エリアで展開	—
環境	 9.3%	5.5%	<b>リースキン</b> 環境美化用品のレンタルを行う「リースキン」ブランドのフランチャイズチェーンを全国で展開	収益性強化
		3.4%	<b>清掃</b> 医療機関や介護施設を中心とした建物の清掃・管理サービスを展開	安定収益
		0.3%	<b>その他</b> 太陽光事業：自社所有地での太陽光を活用した売電事業 ほか	—

※売上構成比は2026年3月期の連結売上に占める比率です。上記のほか、報告セグメントに含んでいない事業があります。

## 本資料および当社 I R に関するお問い合わせ先

財務・企画本部 経営企画部 経営企画・I R 課

E - mail : [ir\\_info@tokai-corp.com](mailto:ir_info@tokai-corp.com)

### 注意事項

本資料は株主・投資家の皆さまへの情報提供のみを目的として作成されたものであり、投資を勧誘するものではありません。投資に関する決定は、株主・投資家の皆さまのご判断において行われますようお願いいたします。

また、本資料に記述されている将来についての予想および見通しは、現時点で入手可能な情報および合理的と判断する一定の前提に基づき当社が作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。

そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記述されている将来の見通しとは異なる可能性があります。

本資料は、これらの見通しの実現や本資料の正確性・完全性について保証するものではなく、当社も法令上の定めがある場合を除き、最新情報に更新する義務を負いません。